

平成 22 年 5 月 13 日

5 月定例所長会見における高橋所長挨拶内容

○ 所長の高橋でございます。本日、私からは、3 点申し上げたいと思います。

○ まずは、「1 号機と 5 号機の点検・評価」についてです。

1 号機につきましては、4 月 8 日に経済産業省原子力安全・保安院より、4 月 15 日に原子力安全委員会より、それぞれプラントの起動について安全上の問題はないことのご確認をいただいたことから、4 月 16 日に新潟県、柏崎市、刈羽村に伺い、運転再開のお願いをさせていただきました。今後、5 月 11 日に開催された県の委員会の審議結果や地元自治体のご意向を踏まえ、適切に対応してまいります。

また、1 号機のこれまでの取り組みや、今後のプラント全体の機能試験につきましても、これまで同様、国や地元自治体、地域の皆さまに対して丁寧にご説明するとともに、地震による被災で得られた教訓や知見を活かして、安全で災害に強い発電所となるよう、精一杯取り組んでまいります。

一方、5 号機につきましては、本日の午前中に開催される国の作業部会において、「機器・系統レベルの設備健全性に関する点検・評価報告書」と「プラント全体の機能試験に関する評価計画書」を、ご審議いただく予定です。これらの報告書・計画書については、今後、本日の審議結果等を踏まえた上でとりまとめを行い、国へ提出したいと考えております。

また、5 号機の「建物・構築物の設備健全性に関する点検・評価報告書」と「耐震安全性評価の報告書」につきましても、現在取りまとめているところであり、準備が整い次第、国へ提出したいと考えております。

○ 2 点目は「6 号機と 7 号機の運転状況」についてです。

6 号機と 7 号機につきましては、昨年に運転再開して以降、安全・安定運転を継続してまいりました。このうち、7 号機は、既にお知らせしているとおり、4 月 18 日から営業運転再開後初めての定期検査を開始しており、停止期間は 6 月 27 日までを予定しております。また、6 号機については、本年 10 月末から来年 1 月中旬で定期検査による停止を予定しておりますが、具体的な日程については、定期検査に入る

前にあらためてお知らせいたします。

なお、昨年度の当発電所の発電実績は、6・7号機あわせて約150億kWh、発電所全体の設備利用率としては21%となりました。6・7号機につきましては、今年度の供給計画においても供給力として織り込まれており、安定供給の確保に向け、引き続き安全・安定運転に努めてまいります。

○ 3点目は、「原子力エネルギー安全月間」についてです。

今月は「原子力エネルギー安全月間」です。この月間は、昭和62年以降、毎年5月に官民一体となって原子力安全に関する意識の高揚を図ることを目的として取り組んできているもので、24回目を迎えます。

今年度は、『謙虚な学びと責任感 誇りを胸に安全確保』を標語として実施され、当発電所においても、グループ討議をはじめとする安全文化醸成活動や特別講演会などの行事を開催し、所員や協力企業社員一人ひとりの安全意識の高揚・定着に取り組んでまいります。

当発電所といたしましては、このような月間活動を含めて、今後も引き続き現場品質の継続的改善を進め、発電所一丸となって安全確保に努めてまいります。

○ 私からは以上です。

以 上

添付)

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX
- ・ プレス公表（運転保守状況）

# 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成22年5月)

平成22年5月13日

## ① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況													補足説明
			6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5		
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第15回定期検査中 定検停止期間:H19.5.4~	第14回 H17.6.14~H18.5.30 停止期間 H17.6.14 ~ H18.4.30 (321日) (原子炉起動H18.4.26)	第15回定期検査による停止													
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3~H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定期検査による停止													
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12~H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定期検査による停止													
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9~H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定期検査による停止													
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H18.11.24~	第11回 H17.7.4~H17.11.2 停止期間 H17.7.4 ~ H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第12回定期検査による停止													
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	運転中	第8回 H19.5.24~H22.1.19 定検停止期間:H19.5.24~H21.8.31 (831日) H21.12.26~H22.1.8 (14日) (原子炉起動H21.1.6)	↓第8回定期検査による停止 不具合調査のため計画停止													
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	第9回定期検査中 停止期間:H22.4.18~	第8回 H19.11.15~H21.12.28 定検停止期間:H19.11.15~H21.5.20 (553日) H21.9.25~H21.11.10 (47日) (原子炉起動H21.11.8)	第9回定期検査による停止 燃料取り替えのため計画停止													【7号機】 ・4月18日から第9回定期検査開始。(お知らせ済み)

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

## ② 発電所設備利用率(%) (4月末現在)

4月	26.6%
22年度累計	26.6%
運転開始後累計	65.7%

## ③ 発電所発電電力量(万kWh) (4月末現在)

4月	157,052
22年度累計	157,052
運転開始後累計	81,861,312

## ④ ドラム缶発生量(本) (H21年度第4四半期)

当期発生本数	1,149
貯蔵庫累積貯蔵本数	28,576
貯蔵庫保管容量	45,000

## ⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H21年度第4四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	12,672
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

## ⑥ 構内従業員データ(人) (5月6日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	913	2,867	48%
	刈羽村	86	299	5%
	その他	99	1,145	16%
	小計	1,098	4,311	69%
県外		105	2,309	31%
合計		1,203	6,620	—
		7,823		100%
協力企業社数(社)		878		

※「比率」について端数処理の関係で数値と計が含まない場合がある。

## ⑦ 来客情報(人) (4月末現在)

	4月	年度累計
地元	3,215	3,215
県内	1,334	1,334
県外	1,355	1,355
国外	79	79
合計	5,983	5,983

## ⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
5月15日	柏崎・夢の森公園で「森づくり活動」!! (柏崎・夢の森公園)
5月20・21日	第140回名画鑑賞会 (柏崎エネルギーホール)
5月20・27日	フラエクササイズ教室 (柏崎エネルギーホール)
6月9日	寄せ植え体験教室と発電所構内バス見学会 (き・な・せ)
6月10日	次回定例所長会見予定
6月20日	TEPCO環境月間記念イベント いっしょに歌おう! いっしょに叩こう! 音色で感じるエコライフ! (ラピカ)

インターネットホームページアドレス  
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社  
 柏崎刈羽原子力発電所  
 広報部  
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）  
～中越沖地震関連を除く～

平成22年5月13日  
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	3月12日	2号機	ジェットポンプ流量計測用配管の切損について (区分Ⅲ)	<p>(事象の発生状況) 平成22年3月12日午前1時40分頃、定期検査中の2号機において、炉心シュラウド予防保全対策工事施工後に水中カメラによる目視点検を実施していたところ、20台あるジェットポンプのうち1台について、流量計測用配管（外径約14mm、肉厚約2mm）の1本が切損していることを確認しました。</p> <p>なお、当該切損箇所を含めた全ての流量計測用配管について、水中カメラによる目視点検を行っており、当該配管以外の切損は確認されておりません。 また、当該切損箇所については、平成19年11月に実施した新潟県中越沖地震後の点検、平成22年2月に行った炉心シュラウド予防保全対策工事施工前の点検で、異常がないことを確認しており、新潟県中越沖地震により切損したものではありません。</p> <p>(安全性、外部への影響) 本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>(対応状況) 今後、シュラウドの予防保全対策工事との関連も含め、原因の調査を行うとともに当該箇所の補修を行う予定です。</p>
②	4月27日	7号機	タービン建屋内（管理区域）における水漏れについて (区分Ⅲ)	<p>(事象の発生状況) 定期検査中の7号機タービン建屋地下2階（管理区域）において、平成22年4月26日午前10時52分頃、低圧ドレンポンプ*（B）の分解点検中に、協力企業作業員が当該ポンプの軸受部冷却器の水抜きプラグを外したところ、冷却器内の冷却水が床に漏えいしました。その後、速やかに水抜きプラグを元に戻すとともに冷却水配管の元弁を閉めたことにより、漏えいが止まりました。漏えいした冷却水の量は約400リットルでした。</p> <p>(原因) 調査の結果、当該ポンプの分解点検に際し、点検実施箇所は設備管理箇所に対して、軸受油冷却水配管の入口弁と出口弁を閉めるように依頼していましたが、設備管理箇所は入口弁については閉めたものの、出口弁は閉める必要はないと判断し実施しませんでした。その結果、水抜きプラグを外したことにより漏えいが発生したことがわかりました。</p> <p>(安全性、外部への影響) 漏えいした冷却水に放射性物質は含まれておりませんでした。 なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>(対応状況) 床面に漏れた水は4月26日に液体廃棄物処理系へ回収するとともに、拭き取りによる清掃を実施しました。 今後、対策等を検討してまいります。</p>